

<放課後等デイサービスあゆむ>

平成30年度事業所向け児童発達支援自己評価表

平成31年2月15日現在

平成30年11月下旬より事業開始のため、整備途中の項目があります。了承ください。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		地域の方々との交流サロンスペースがあります
	② 職員の配置数は適切であるか	○		多機能事業所の特性を活かしてすべてのスタッフが支援できます
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		一人一人にロッカーを用意しています 部屋に仕切りができるように工夫しています
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		テーブル、ソファ等、過ごしやすい家具を設置しています
業務改善	⑤ 事業改善をするためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		毎日支援方法を検討しています
	⑥ 保護者向け評価表により、保護者に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、事業改善につなげているか		○	今後実施します
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その評価による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページで公開しているか		○	保護者向け評価を今後実施します
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を事業改善につなげているか		○	来年度実施します
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		いつでも参加できるように研修費を予算化しています
適	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと	○		平日は、次の日の学校につなが

切 な 支 援 の 提 供		保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか			る過ごし方、休業日は、体験活動を通した活動を通して、達成感や成就感が味わえるように工夫しています
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		文部科学省の学習指導要領（特別支援学校編）に基づいた資料から発達段階及び支援内容を参考にしています
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		活動を通して、達成感や成就感が味わえるように配慮しています
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている。	○		⑫に関連
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		⑫に関連
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		⑫に関連
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		⑫に関連
	⑰	支援開始前には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	○		
	⑲	日々の支援に関し記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性の判断を	○			

		しているか			
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		事業所内に相談支援事業所がある環境を有効に活用しています
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		各行政機関と連携しています
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関を連携した支援を行っているか	—	—	検討しています
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	—	—	検討しています
	㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	—	—	該当者なし
	㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	△		一部、小学校、特別支援学校について未実施です。今後実施予定です
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		各相談支援事業所と連携をしています
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	—	—	
	㉘	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		市の自立支援協議会に参加しています
	㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝え	○		保護者の送迎時等の機会に相談

		あい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか			時間を設定しています
	③①	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		面談や相談を通して、支援方法をお伝えしています
保護者への説明責任等	③②	運営の規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		
	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	△		説明時期が遅れる傾向がありますので、できるだけ早期に改善します。
	③④	定期的に、保護者の子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		学校現場での教育相談経験を活かして支援を行っています
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催したりする等により、保護者同士の連携を支援しているか	—	—	未実施です
	③⑥	子どもや保護者からの相談の申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ丁寧に対応しているか	○		保護者の都合のよい時間にできるだけ合わせて対応しています
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	△		ホームページに具体的な情報掲載について検討中です
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		承諾書の手続きをとっています
	③⑨	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のため配慮をしているか	○		音声、視覚化等、伝わりやすい配慮を心がけています
	④⑩	事業所音行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を行っているか	—	—	来年度から地域オープンなサロンを運営します。また、AEDを設置していることから、AED講

					習会を開きます
非常時等の対応	④①	緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	△		訓練を4月・10月に予定しています 防火管理者を中心に各種訓練をしていきます
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか			4月・10月に予定しています
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○		契約時、処方が変わるごとに確認させていただいています
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか	—	—	該当者はいません
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		保護者にもお伝えします
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		言語環境を整えるとともに、気持ちに寄り添い、ことばや視覚化で行動の促しができるスキルを積んでいます
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	—	—	